

Device Search Utility v3.x ユーザーマニュアル

バージョン 1.1、2025 年 6 月

www.moxa.com/jp/products



© 2025 Moxa Inc. All rights reserved.

Device Search Utility v3.x ユーザーマニュアル

このマニュアルで説明されているソフトウェアは、ライセンス契約に基づいて提供され、その契約の条件に従ってのみ使用できます。

著作権表示

© 2025 年 Moxa Inc. All rights

商標

MOXA ロゴは Moxa Inc. の登録商標です。

本マニュアルに記載されているその他の商標または登録商標は、それぞれのメーカーに帰属します。

免責事項

- 本書の情報は予告なしに変更されることがあり、Moxa のコミットメントを意味するものではありません。
- Moxa は本書を現状のままで提供しており、特定の目的に対する適合性を含め、明示または黙示を問わず、いかなる種類の保証も行いません。Moxa は、いつでも本マニュアルや本マニュアルに記載されている製品および/またはプログラムを改善および/または変更する権利を留保します。
- 本マニュアルに記載されている情報は、正確かつ信頼できることを意図しています。しかし、Moxa はその使用に関して、またはその使用によって生じる第三者の権利の侵害について一切責任を負いません。
- 本製品には意図しない技術的または誤植が含まれている場合があります。これらのエラーを修正するために定期的に情報が更新され、これらの変更は新しい版の出版物に組み込まれます。
-

技術サポート連絡先情報

www.moxa.com/jp/support

目次

1.	紹介	4
2.	Device Search Utility の使い方	5
	インストールと起動	5
	ワーキングパネルとユーザーインターフェース	5
	機能	6
	デバイス検索	6
	ロック解除	7
	初回ログイン	7
	コンソール	9
	見つける	9
	IP を割り当てる	9
	IPv4 を割り当てる	9
	IPv6 を割り当てる	10
	より多くの機能	12
	設定のインポート	12
	設定のエクスポート	13
	ファームウェアのアップグレード	13
	証明書をインポート	13
	許可リスト	13
	再起動	15
	リセット	15
	COM マッピング	16
	フィルター	24
	サマリービュー	25
	リストをファイルに保存	25
	フィールドの表示/非表示	26
	アプリケーション情報	27
	概要	27
	ユーザーマニュアル	27
	環境設定	27
	デバイス検索	27
	ロック解除タイムアウト	28
	言語	28
3.	使用シナリオのヒント	29
	大量展開	29
A.	エラーメッセージ	30

1. 紹介

Device Search Utility (DSU) は、Moxa の NPort および MGate を簡単に検出し、単一およびマス デバイス展開の機能を提供する便利なツールです。**DSU v3.0** から、現在は Chrome、Firefox、および Microsoft Edge で動作するウェブベースのアプリケーションとして機能します。

サポート OS：

- Windows 11 および Arm, 10, 8.1, 8 および 7
Windows 7 環境には、TLS v1.2 と .NET 6 の互換性を考慮して、以下のパッケージをインストールする必要があります。
 - Service Pack 1 (SP1)
 - Microsoft Visual C++ 2015-2022 再頒布可能パッケージ
 - セキュリティ更新プログラム KB3063858
 - Microsoft ルート証明書機関 2011
- Windows Server 2025, 2022, 2019, 2016, 2012 R2, 2012 および 2008 R2
Windows Server 2008 R2 環境には、TLS v1.2 と .NET 6 の互換性を考慮して、以下のパッケージをインストールする必要があります。
 - Service Pack 1 (SP1)
 - Microsoft Visual C++ 2015-2022 再頒布可能パッケージ
 - セキュリティ更新プログラム KB3063858
 - Microsoft ルート証明書機関 2011

サポートブラウザの種類とバージョン：

	Chrome	Firefox	Microsoft Edge
Windows 11 および Arm	バージョン 128.0.6613.85 以降	バージョン 129.0.2 以降	バージョン 126.0.2592 以降
Windows 10			
Windows Server 2025			
Windows Server 2022			
Windows Server 2019			
Windows Server 2016			
Windows 8.1	バージョン 109.0.5414.120 以降	バージョン 115.14.0 以降	サポートされていません
Windows 8			
Windows 7			
Windows Server 2012 R2			
Windows Server 2012			
Windows Server 2008 R2			



注意

- バージョン 3.1 から、**DSU** はプログレッシブウェブアプリ (PWA) 形式を採用しました。これは Chrome と Microsoft Edge に対応しています。お使いのブラウザがまだ PWA に対応していない場合でも、**DSU** はブラウザのインターフェースを通じて使用できます。
- また、バージョン 3.1 以降、**DSU** はウェブアプリケーションになりました。**DSU** で問題が発生した場合は、クッキーを閉じるかクリアしてから再起動することをお勧めします。
- 古いバージョンの OS、または Internet Explorer など古いブラウザを利用している場合は、**DSU** のバージョン 2.x を使用してください。**DSU 2.x** は古い製品のみをサポートしています。

サポートするモデル：

DSU v3.x でサポートされる製品については、概要セクションのリリースノートを参照してください。

2. Device Search Utility の使い方

インストールと起動

アプリケーションのインストールには 2 つのオプションがあります：

- 完全インストール：インストーラーの手順に従ってインストールを完了します。
 - サイレントインストール：DeviceSearchUtility_Installer.exe /silent
コンピュータのデスクトップから **DSU** ショートカットをクリックしてアプリケーションを起動します。
- ポータブル/スタンドアロンバージョン：一部のお客様のセキュリティ制限により、新しいアプリケーションのインストールが制限される場合があります。Moxa のウェブサイトからダウンロードした zip ファイルから「DeviceSearchUtility」フォルダをデスクトップにコピーします。以下の手順に従ってください：
 - 管理者として InstallCertificate.bat を実行する
 - 管理者として DeviceSearchUtility.exe を実行する

ルート CA 証明書をアンインストールするには、UninstallCertificate.bat を実行してください。



注意

- DSU** のデフォルトポート番号は **5005** です。別のポートを使用したい場合は、「Program Files\Moxa\Device Search Utility\DeviceSearchUtility.xml」ファイルを編集し、「localhost:5005」の行を希望のポート番号に変更してください。
- 同じコンピュータでは、**DSU** は単一インスタンスでのみ使用できます。新しいブラウザタブ、別のブラウザ、またはリモート手段で **DSU** にアクセスすると、この操作が拒否され、エラーメッセージが表示されます。













警告

DSU では単一の接続のみが許可されます。このページを閉じてください。

ワーキングパネルとユーザーインターフェース



機能アイコン	機能名	簡単な紹介
デバイス検索	デバイス検索	ブロードキャスト、ユニキャスト、または IP 範囲でデバイスを検索
	ロック解除	同じモデルタイプの選択されたデバイスのロックを解除
	コンソール	ウェブコンソールの使用
	見つける	ブザーを作動させるか LED で表示してデバイスを探す。

機能アイコン	機能名	簡単な紹介
	IP を割り当てる	デバイスの IP アドレスを割り当てる
	さらに多くの機能	アドバンス機能
	設定のインポート	同じモデルのデバイスに設定をインポート
	設定のエクスポート	同じモデルのデバイスから設定をエクスポート
	ファームウェアのアップグレード	同じモデルのデバイスのファームウェアのアップグレード
	証明書のインポート	デバイスに証明書をインポート
	許可リスト	デバイスにアクセスできる許可された IP アドレスのリストを設定する
	再起動	デバイスの再起動
	リセット	デバイスを工場出荷時の設定にリセットする
	フィルター	リストテーブルの検索フィルター
	アプリケーション情報	概要とユーザーマニュアルセクション
	プリファレンス	ユーティリティ設定、言語選択

検索結果テーブル列名	簡単な紹介	デフォルトで表示
デバイス名	デバイスの別名	いいえ
モデル名	デバイスのモデルタイプ	はい
アンロック状態	DSU によるロック状態	はい
LAN1 IPv4	LAN1 の IPv4 アドレス	はい
LAN1 MAC	LAN1 の MAC アドレス	はい
LAN2 IPv4	LAN2 の IPv4 アドレス	いいえ
LAN2 MAC	LAN2 の MAC アドレス	いいえ
LAN1 IPv6	LAN1 の IPv6 アドレス	いいえ
LAN2 IPv6	LAN2 の IPv6 アドレス	いいえ
ファームウェアバージョン	デバイスの現在のロードされたファームウェアバージョン	はい

機能

DSU の機能の利用可能性は、お使いのデバイスがその機能をサポートしているかどうかに依存します。デバイスのファームウェアでその機能が無効になっている場合、その機能は **DSU** で無効状態として表示されます。デバイスがその機能をサポートしていない場合、その機能は **DSU** に表示されません。

デバイス検索

デバイス検索 ▼

デバイス検索には 3 つの検索方法があります。プルダウンメニューをクリックしてオプションを表示します：

デバイス検索	デフォルトボタンの動作。デバイスをブロードキャストで検索します。
IP で検索	特定の IP でデバイスを検索します
IP 範囲で検索	特定の IP 範囲内でデバイスを検索します。例: 192.168.127.1 から 192.168.127.255 まで。

検索中 ... 0 デバイスが見つかりました、または押すことができます 停止 中止します。

プロセスの任意の段階で検索を停止することができます。テーブルの上に **停止** ボタンが表示されます。クリックすると検索が中止され、既に検索されたデバイスがリストに残ります。

デフォルトの検索時間は 10 秒です。**DSU** は時間が切れるまで検索を続けます。デバイスが表示されない場合は、**設定 > 検索デバイス > デバイス検索のタイムアウト制限**で検索タイムアウト制限を変更し、ネットワークが応答するまでの時間を増やしてください。







注意

1. **DSU** を起動すると、デバイスを検索するためにブロードキャストを開始します。起動時に検索しない場合は、**設定 > デバイス検索 > DSU 起動後にデバイスを自動的に検索**のオプションのチェックを外すことができます。
2. **IP** または **IP 範囲** で検索する場合、検索結果には対応する **IP** タイプのみが表示されます。たとえば、**IPv4** で検索する場合、表示されるのは **IPv4** の値のみです。

ロック解除








NPort と MGate のセキュリティ設計は数十年にわたって大きな進歩を遂げ、現在、4 種類の異なるログイン許可があります。検索リストテーブルからお使いのデバイスのロックタイプを確認し、以下の表を参照して対応する解除方法をご確認ください。

	ログイン権限タイプ	定義
	デフォルト	初回ログイン時には、デフォルトのアカウントとパスワードを作成する必要があります
	ベーシック	ログインにはパスワードの入力が必要です
	アドバンス	ログインにはアカウントとパスワードの入力が必要です
	アンロック	デバイスがアンロックされているか、ログインが必要ありません

初回ログイン



最新バージョンの NPort または MGate を使用するには、初回ログイン時にアカウントとパスワードを設定する必要があります。

<input type="checkbox"/> シーケンス		モデル	LAN1 IPv4	LAN1 MAC	ファームウェアバージョン
<input type="checkbox"/> 1		NPort 6250-G2	192.168.127.254	00:90:E8:62:50:A1	-
<input type="checkbox"/> 2		NPort 5450I	192.168.127.254	00:90:E8:9A:E0:BF	3.14
<input type="checkbox"/> 3		NPort 6250	192.168.127.254	00:90:E8:4B:B2:E4	2.2
<input type="checkbox"/> 4		NPort 5210A	192.168.127.254	00:90:E8:AD:45:10	1.6

デバイスをロック解除しようとする、ログインウィンドウでアカウントとパスワードの設定を促すメッセージが表示されます。パスワードの最低要件は、パスワードフィールドの下にヒントとして表示されます：

新しいセットアップ

初めて新しいデバイスのロックを解除するには、アカウントとパスワードを設定する必要があります。

アカウント
Moxa

新しいパスワード

少なくとも 8 文字を含む

パスワードを認証する

キャンセル 設定

デフォルトのアカウントとパスワードを作成すると、デバイスが再起動する場合があります。「新しいタスクを開始する」を完了した後、ロックアイコンはアドバンスタイプに変わります：

<input type="checkbox"/> シーケンス		モデル	LAN1 IPv4	LAN1 MAC	ファームウェアバージョン
<input type="checkbox"/> 1		NPort 6250-G2	192.168.127.254	00:90:E8:62:50:A1	-
<input type="checkbox"/> 2		NPort 5450I	192.168.127.254	00:90:E8:9A:E0:BF	3.14
<input type="checkbox"/> 3		NPort 6250	192.168.127.254	00:90:E8:4B:B2:E4	2.2
<input type="checkbox"/> 4		NPort 5210A	192.168.127.254	00:90:E8:AD:45:10	1.6

パスワードを間違えて入力するなど、解除中にエラーが発生した場合、システムは画面の右下にエラーメッセージを表示して通知します。

この項目数: 10 1 - 3 of 3

ロック解除失敗



注意

1. 同じモデルのデバイスのみをロック解除できます。
2. アカウントとパスワードを変更する必要がある場合は、Web コンソールに移動し、**User Account** 機能を見つけてください。
- 3.
4. 一定時間（デフォルトは 3 分間）のアクティビティのない場合、自動ロックアウト機構がデバイスをロックし、再度解除が必要になります。自動ロックアウトオプションは、**設定>ロック解除タイムアウト**にあります。

コンソール



デバイスのウェブコンソールにはすべての設定が含まれています。ボタンをクリックするとアクセスオプションが表示されます。デバイスがサポートしていないオプションは無効になります。

- HTTP (IPv4)
- HTTPS (IPv4)
- HTTPS (IPv6)
- Telnet



注意

最近リリースされた製品については、HTTP および Telnet などの一部の安全でない接続方法はデフォルトで無効化されています。これらの方法でデバイスにアクセスする必要がある場合は、まずウェブコンソールからそれらを有効にしてください **Basic Settings > Console Settings**。

見つける



この機能を使用する前にデバイスをロック解除する必要があります。

これはブザーを鳴らしてデバイスを探すためのものです。ボタンをクリックすると、すべての**見つける**オプションが表示されます。デバイスが特定のオプションをサポートしていない場合、それらは無効になります：

- 見つける (IPv4)
- 見つける (IPv6)

IP を割り当てる



デバイスをロック解除してからでないと、この機能は使用できません。

IPv4 または IPv6 を割り当てるにはクリックしてください。選択したデバイスがすべて IPv6 に対応している場合、IPv6 タブが表示されます。そうでない場合、**DSU** は IPv4 タブのみを表示します。

IPv4 を割り当てる

モード：静的または DHCP

IP アドレス、**サブネットマスク**、**デフォルトゲートウェイ** - **任意**のフィールドをクリックして、値を手動で入力します。

複数のデバイスを選択し、各デバイスに特定の IP アドレスが必要ない場合は、IP を順番に割り当て迅速に設定できます。この機能は、リストの 1 番目のデバイスの IP 値を基に IP アドレスをインクリメントさせます。

IP を割り当てる

IPv4

モード
静的

4 デバイス

IP を順番に割

シーケンス	モデルとMACアドレス	IPアドレス	サブネットマスク	デフォルトゲートウェイ - 任意
1	NPort 6250-G2 00:90:E8:62:50:A1	192.168.127.254	255.255.255.0	
2	NPort 5450I 00:90:E8:9A:E0:BF	10.12.101.202	255.255.255.0	
3	NPort 6250 00:90:E8:4B:B2:E4	10.12.101.204	255.255.255.0	

キャンセル

割り当てと再起動

すべてのデバイスに「ネットワークマスク」/「デフォルトゲートウェイ」を複製

これは、選択したすべてのデバイスにサブネットマスクまたはゲートウェイの値をすばやくコピーして貼り付ける方法です。まず任意のデバイスのサブネットマスクとデフォルトゲートウェイ - オプションを編集し、リストの末尾にあるメニューアイコンでオプションを適用してください：

1	NPort 6250-G2 00:90:E8:62:50:A1	192.168.127.254	255.255.255.0		⋮
2	NPort 5450I 00:90:E8:9A:E0:BF	10.12.101.202	255.255.255.0		⋮
3	NPort 6250 00:90:E8:4B:B2:E4	10.12.101.204	255.255.255.0		⋮

すべてのデバイスにサブネットマスク...
デフォルトゲートウェイをすべての...

IPV6 を割り当てる

モード：静的、オート、無効にする

IP アドレス、プレフィックス、デフォルトゲートウェイ - 任意のフィールドをクリックして、値を手動で入力します。

複数のデバイスを選択し、各デバイスに特定の IP が必要ない場合は、IP を順番に割り当て迅速に設定できます。この機能は、リスト中の 1 番目のデバイスの IP 値を基に IP アドレスをインクリメントさせます。

IP を割り当てる

IPv4

IPv6

モード

静的

2 デバイス

IPを順番に割

シーケンス	モデルとMACアドレス	IPアドレス	プレフィックス	デフォルトゲートウェイ - 任意
1	NPort 6250-G2 00:90:E8:62:50:A1	fe80::290:e8ff:fe62:50a1	1	
2	NPort 6250 00:90:E8:48:B2:E4	fe80::290:e8ff:fe4b:b2e4	1	

キャンセル

割り当てと再起動

すべてのデバイスに「ネットワークマスク」/「デフォルトゲートウェイ」を複製

これは、選択したすべてのデバイスにプレフィックスまたはゲートウェイの値をすばやくコピーして貼り付ける方法です。まず任意のデバイスのプレフィックスとデフォルトゲートウェイ - 任意を編集し、リストの末尾にあるメニューアイコンでオプションを適用してください：'

シーケンス	モデルとMACアドレス	IPアドレス	プレフィックス	デフォルトゲートウェイ - 任意
1	NPort 6250 00:90:E8:48:B2:E4	fe80::290:e8ff:fe4b:b2e4	1	
2	NPort 6250-G2 00:90:E8:62:50:A1	fe80::290:e8ff:fe62:50a1	1	

すべてのデバイスにプレフィックスを...

デフォルトゲートウェイをすべての...

キャンセル

割り当てと再起動

変更を適用

すべての設定を行った後、割り当てと再起動をクリックしてデバイスを再起動し、新しいIPを設定します。DSU は、各デバイスのステータスとメッセージ列に結果を表示するはずです。

情報: このプロセスの実行には時間がかかる場合があります。他のアクションを実行する前に、プロセスが終了するまでお待ちください。

実行完了

終了

エイリアス名	モデル	現在の状態	メッセージ	最終更新時刻
NP5450I_4850	NPort 5450I	失敗しました	不明な理由でアクションが失敗しました。再試行してください。	Jul 10, 2024 14:30:30
NP6250_47421	NPort 6250	完了	完了	Jul 10, 2024 14:30:30
	NPort 6250-G2	完了	完了	Jul 10, 2024 14:30:30

ページごとの項目数: 10

1 - 3 of 3

<

>

新しいタスクを開始

より多くの機能



設定のインポート



この機能を使用する前にデバイスをロック解除する必要があります。

同一モデルの一つまたは複数のデバイスに設定ファイルをインポートすることができます。

設定のインポート

インポートする設定ファイルを選択します。

設定ファイル

閲覧...

☐ 現在のデバイスのネットワーク設定を維持する
保持される項目には、モード、IP アドレス、ネットマスク (IPv4)、プレフィックス (IPv6)、ゲートウェイ、および DNS が含まれます。

キャンセル インポート & 再起動

現在のデバイスのネットワーク設定を維持する

デバイスの既存のネットワーク設定を維持する場合は、オプションをチェックしてください。設定をインポートした後、**DSU** は各デバイスのステータスとメッセージ列に成功または失敗を表示する必要があります。

情報: このプロセスの実行には時間がかかる場合があります。他のアクションを実行する前に、プロセスが終了するまでお待ちください。

実行完了

設置名	モデル	現在の状態	メッセージ	最終更新時刻
NP5210A_8205	NPort 5210A	完了	完了	2024/09/12 09:57:17
NP5210A_8295	NPort 5210A	失敗しました	ファイル形式が正しくありません。	2024/09/12 09:57:17

ページごとの項目数: 10 1 - 2 of 2 |< < > >|

新しいタスクを開始

設定を有効にするために、お使いのデバイスは再起動する場合があります。進行中だった作業は完了されません。

新しいタスクの開始 をクリックしてメインコンソールペインに戻ると、再度検索が行われます。



注意

失敗の可能性のある原因については、付録：エラーメッセージを参照してください。

設定のエクスポート



この機能を使用する前にデバイスをロック解除する必要があります。

設定のエクスポートは同一モデルの一つまたは複数のデバイスから設定ファイルをエクスポートすることができます。1つのデバイスのみをエクスポートする場合、ファイル形式は*.ini、.dat、.txt、.cfd、.decになります。ファイル名は[モデル名] - [IP] _ [日付].xxxになります。例：NPort6150-10.123.10.1_220724.ini。

複数デバイスの場合は、ZIP ファイルに圧縮してエクスポートします。

ファームウェアのアップグレード



この機能を使用する前にデバイスをロック解除する必要があります。

ファームウェアアップグレードは、同じモデル名を持つ1つ以上のデバイスに1つのファームウェアファイルを送信できます。ファームウェアファイルの拡張子は通常 .ROM です。

ステップ 1：同じモデルを選択する

ステップ 2：ファームウェアファイルをインポートする

ステップ 3：インポートして再起動する



警告

ファームウェアをアップグレードする際は、デバイスの電源アダプタープラグを抜かないでください。また、デバイスを再起動/リセットしないでください。これにより、デバイスが破損される可能性があります。

証明書をインポート



この機能を使用する前にデバイスをロック解除する必要があります。

証明書をインポートは、1台以上のデバイスに証明書ファイルを交換して、安全なコマンド/データ転送を確立するものです。

ステップ 1：適切なモデルを選択します（例：NPort 6000-G2）

ステップ 2：証明書をインポートします

ステップ 3：保存して再起動します



注意

1. **証明書のインポート**は、特定のモデルにのみ適用されます。たとえば、NPort 6000-G2 シリーズです。
2. ポートが閉じており、データが転送されていない場合にのみ、証明書をインポートできます。証明書ファイルを輸入する前に、すべての開いているポートを閉じるように通知されます。

許可リスト



この機能を使用する前にデバイスをロック解除する必要があります。

許可リストは、IP アドレスをアクセスリストに追加することでデバイスのアクセス権限を提供します。ルールを追加またはこの許可リストを有効にするをクリックして、新しい許可リストのルールを作成します。

許可リスト

警告: この許可リストを有効にすると、すべての通信はこの許可リストの IP に対してのみ許可されます。ホスト IP をリストに追加してください。

☐ この許可リストを有効にする

このホストを追加 [ルールを追加](#)

シーケンス	IP アドレス	サブネットマスク	ルール
表示するルールがありません。クリック ルールを追加 最初のルールを作成します。			

キャンセル [保存して再起動](#)

ルールを追加

これは特定の IP にアクセス許可を与えるものです。

許可リスト


警告: この許可リストを有効にすると、すべての通信はこの許可リストの IP に対してのみ許可されます。ホスト IP をリストに追加してください。

☒ この許可リストを有効にする

このホストを追加 [ルールを追加](#)

号	IP アドレス	サブネットマスク	ルール
1	192.168.127.101 0.0.0.0 ~ 255.255.255.255	255.255.255.255	有効にします ▼ 
2	10.89.102.176 0.0.0.0 ~ 255.255.255.255	255.255.255.255	有効にします ▼ 

キャンセル [保存して再起動](#)

IP アドレス	アクセス許可を与えるコンピュータの IP アドレス
サブネットマスク	アクセス許可を与えるコンピュータのサブネットマスク
ルール	許可リストルールの有効化/無効化
	許可リストルールの削除

この許可リストを有効にする

これは、許可リスト機能全体を有効にするものです。このオプションがチェックされている場合にのみ、アクセス制限が有効になります。

このホストを追加

現在 **DSU** を操作しているコンピュータを許可リストに追加します。



注意

DSU を実行しているコンピュータがデバイスのホストコンピューターとして機能する場合は、**このホストを追加**をクリックしてホストコンピューターをアクセス リストに含めることが重要です。そうしないと、ホスト コンピューターの IP を追加せずに**許可リスト**を有効にすると、デバイスがホスト コンピューターからのアクセスをブロックすることになります。

許可リストの編集が完了したら、**保存して再起動**ボタンをクリックしてください。デバイスが再起動する必要があり、進行中の作業が終了する可能性がありますのでご注意ください。

再起動



この機能を使用する前にデバイスをロック解除する必要があります。

再起動は、1 つ以上のデバイスに適用されることができます。再起動が必要なデバイスを選択し、**再起動**ボタンを押してください。

再起動が完了すると、**DSU** は各デバイスの **状態とメッセージ** 列に成功または失敗の結果を表示します：

情報: このプロセスの実行には時間がかかる場合があります。他のアクションを実行する前に、プロセスが終了するまでお待ちください。

実行完了

装置名	モデル	現在の状態	メッセージ	最終更新時刻
NPort-6250-G2_0091	NPort 6250-G2	完了	完了	2024/09/26 14:10:24
NP5450L4850	NPort 5450I	失敗しました	不明な理由でアクションが失敗しました。再試行してください。	2024/09/26 14:10:24
NP6250_5347	NPort 6250	完了	完了	2024/09/26 14:10:24
NP5210A_8205	NPort 5210A	完了	完了	2024/09/26 14:10:24

ページごとの項目数: 10 1 - 4 of 4

新しいタスクを開始

設定を有効にするためにデバイスが再度再起動することがあり、進行中だった作業は完了されません。



注意

失敗の原因については、付録：エラーメッセージを参照してください。

リセット



この機能を使用する前にデバイスをロック解除する必要があります。

リセット は、1 つ以上のデバイスに適用されることができます。リセットする必要のあるデバイスを選択し、**リセット** ボタンをクリックしてください。

リセット

コンソール アカウントとパスワードを含むすべての設定を工場出荷時のデフォルト値にリセットします。

☐ 現在のデバイスのネットワーク設定を維持する
保持される項目には、モード、IP アドレス、ネットマスク (IPv4)、プレフィックス (IPv6)、ゲートウェイ、および DNS が含まれます。

キャンセル 保存して再起動

現在のデバイスのネットワーク設定を維持する

デバイスの既存のネットワーク設定を維持する場合は、オプションをチェックしてください。

COM マッピング

Real COM モード

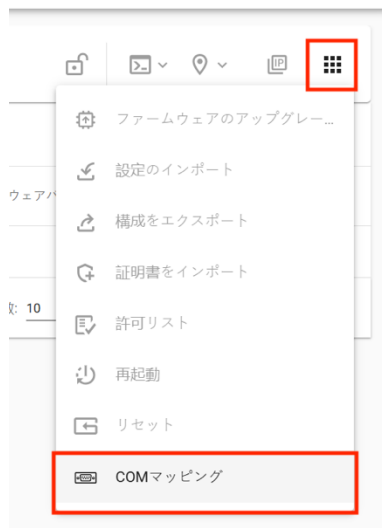
NPort または **MGate MB3x70-G2** のシリアルポートを、PC ホスト用のリモート COM ポートとして設定できます。
NPort の場合は、**Moxa Windows Driver Manager** を使用して COM ポートをマッピングする際に、シリアルポートを Real COM モードに設定してください。



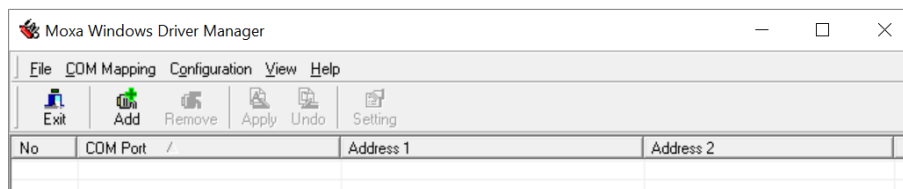
注意

1. 現在、**COM マッピング**がサポートしているのは **NPort** および **MGate MB3x70-G2** のみです。
2. **COM マッピング** には **Moxa Windows Driver Manager** が必要です。お使いのコンピューターに **Moxa Windows Driver Manager** がインストールされていない場合は、**DSU** インストーラーを再実行して **Moxa Windows Driver Manager** のインストールを含めるか、**Moxa.com/Support** からダウンロードしてください。
4. **COM マッピング** を実行するには、最新の Visual C++ 再頒布可能パッケージがインストールされている必要があります。Visual C++ 再頒布可能パッケージのインストール後、コンピューターの再起動が必要な場合があります。

1. より多くの機能で **COM マッピング** をクリックします



2. **Moxa Windows Driver Manager** で **Add** アイコンをクリックしてください。**MGate MB3x70-G2** シリーズの場合は、手順 4 に進んでください。



3. **Search** をクリックして NPort デバイスサーバーを検索します。生成されたリストから COM ポートをマッピングするサーバーを選択し、**OK** をクリックします。**Mapping IPv6 COM Port** にチェックを入れると、デフォルトの IPv4 アドレスが IPv6 アドレスに変更されます。



注意

NPort 6000 および NPort 6000-G2 モデルのみが IPv6 をサポートしています。

4. **NPort** の場合、**Input Manually** を選択して、**NPort** の **Device IP Address**、最初の **Data Port**、最初の **Command Port**、およびマッピングされる **Total Ports** を手動で入力することもできます。**Add Real COM Port** ページは（完全修飾ドメイン名（**FQDN**））をサポートしており、その場合は IP アドレスが自動的に入力されます。

最大 4 つの実 COM ポートをサポートする **MGate MB3x70-G2** シリーズの場合は、MGate の **Device IP Address** と **Total Ports** に 4 を入力するだけで、**Data Port** および **Command Port** を変更する必要はありません。

OK を選択して次のステップに進んでください。



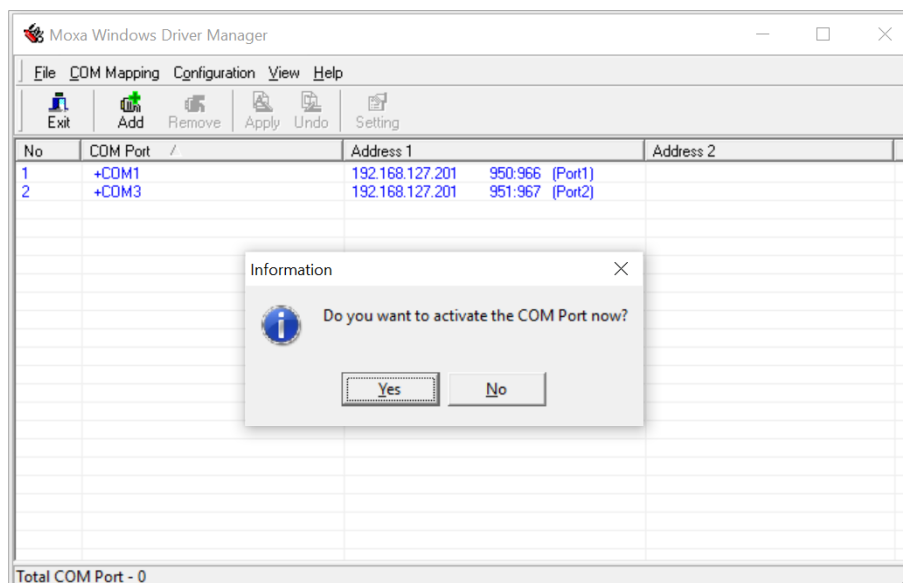
注意

NPort の **Real COM** モードでは、**Data Port** 番号と **Command Port** 番号は固定されています。**Data Port** 番号は、シリアルポート 1 が 950、ポート 2 が 951 から始まります。**Command Port** 番号は、シリアルポート 1 が 966、ポート 2 が 967 から始まります。

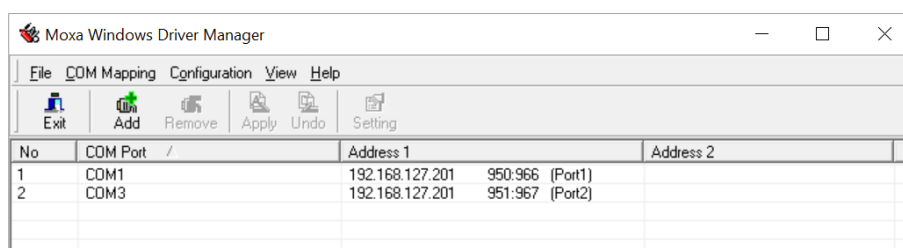
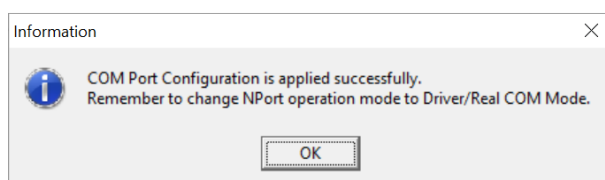
例えば、デバイスに 8 つのシリアルポートがあり、ポート 3 から 5 のみをマッピングしたい場合は、**Total Ports** を 3 に設定します。最初にマッピングされるポートの **Data Port** 番号は 952、**Command Port** 番号は 968 になります。

ポート 3 と 5 のように連続していないポートをマッピングする場合は、それぞれのポートを個別に追加する必要があります。

5. ポートとそのマッピングは、アクティブ化するまで青色で表示されます。**COM** ポートをアクティブ化すると、情報がホストシステムのレジストリに保存され、**COM** ポートが使用可能になります。ホストコンピュータは、アクティブ化するまで **COM** ポートを使用しません。**Yes** をクリックして **COM** ポートをアクティブ化するか、**No** をクリックした後でアクティブ化してください。



6. アクティブ化が成功すると、確認ダイアログが表示され、すべてのアクティブ化されたポートが黒色に変わります。

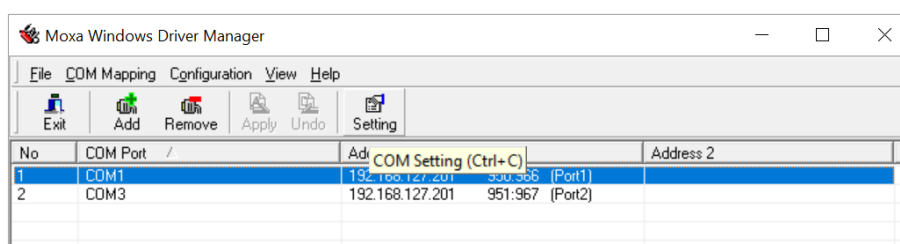


注意

1. **Redundant COM Mode** は CN2600 モデルおよび NPort 6600-G2 にのみ対応しており、**Redundant COM Mode** の暗号化は NPort 6600-G2 モデルでのみ利用可能です。
2. **Reverse Real COM Mode** は NPort 6000 および 6000-G2 でのみ利用可能です。

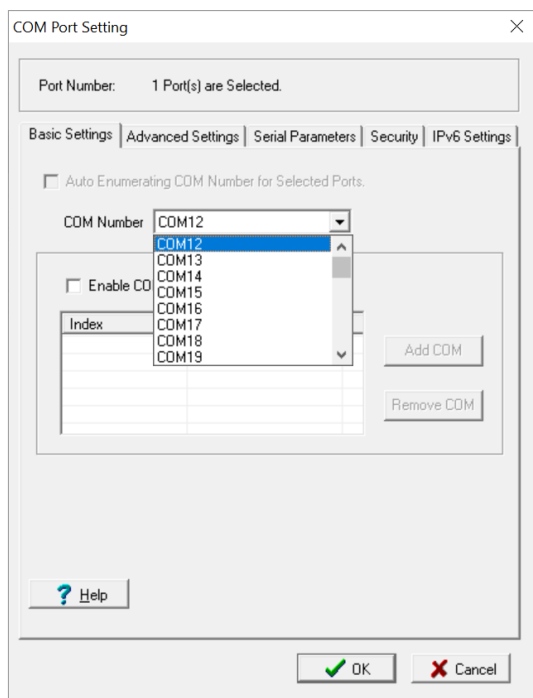
マッピングされた **COM** ポートの設定

NPort の特定のシリアルポートの設定を再構成するには、**Real COM** モードで対応する行を選択し、**Setting** アイコンをクリックします。



Basic Setting

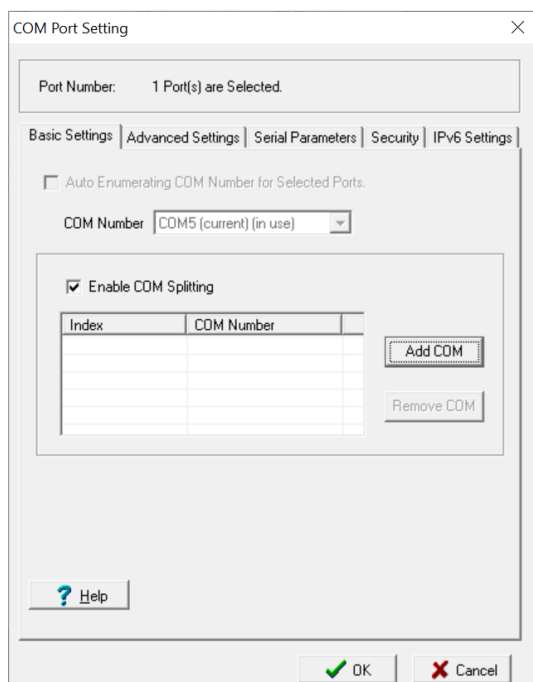
Basic Setting ウィンドウでは、**COM Number** ドロップダウンリストを使用して、設定しているシリアルポートに割り当てる COM 番号を選択します。複数のポートを選択した場合、**Auto Enumerating COM Number for Selected Ports** オプションを選択して、選択されたシリアルポートに順番に利用可能な COM 番号を割り当てることができます。ドライバーがポートを **in use** としてラベル付けすることに注意してください。



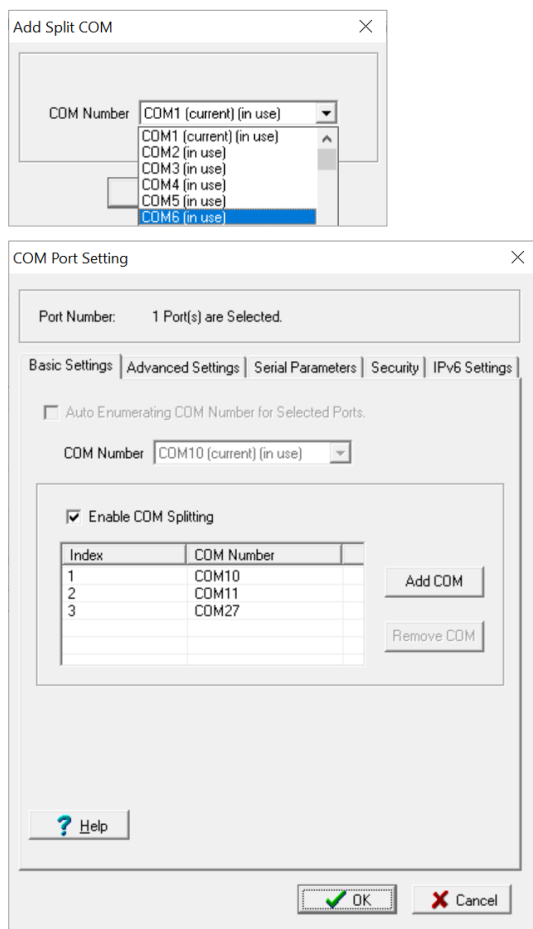
COM Splitting

COM Splitting では、同じシリアルポートのデータをコンピュータ上の複数の仮想 COM ポートにリダイレクトすることができます。NPort で **Max Connection** を調整する必要があることを忘れないでください。例えば、2 つの COM ポートに分割する場合、**Max Connection** を 2 に調整する必要があります。設定と数の制限に関する詳細については、NPort ユーザーマニュアルの **Max Connection** イントロダクションを参照してください。

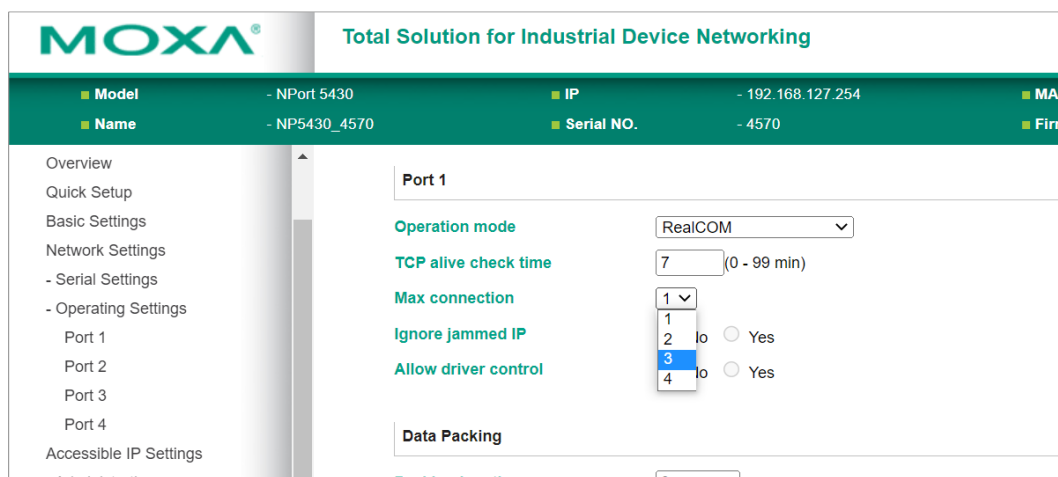
1. **Enable COM Splitting** を有効にする



2. **Add COM** を選択して **COM Splitting** の対象 COM ポートを選択します。COM ポートは使用可能でなければなりません。



3. **OK** を押した後、選択した COM ポートがグループ化されていることを確認してください。**Apply** をクリックして変更を保存します。
4. NPort の操作設定で、**Max Connection** ドロップダウンメニューの数値を、**COM Splitting** グループ内のユニット数と一致させてください。



Advance Setting

Tx Mode、**FIFO**、**Flash Flush** を変更するには **Advanced Setting** タブをクリックしてください。

The screenshot shows the 'COM Port Setting' dialog box with the 'Advanced Settings' tab selected. The 'Port Number' field shows '1 Port(s) are Selected.' Below the tabs, there is a checkbox for 'Apply All Selected Ports'. The 'Tx Mode' dropdown is set to 'Hi-Performance'. The 'FIFO' dropdown is set to 'Enable'. The 'Network Timeout' is set to '5000 ms (500 - 20000)'. There are several checkboxes: 'Fast Flush (Flush Local Buffer Only)' is checked, 'Auto Network Re-Connection' is checked, 'Always Accept Open Requests' is unchecked, 'Drop Writing Data If Network Connection Lost' is unchecked, 'Return Error If Network Is Unavailable' is unchecked, 'Ignore TX Purge' is unchecked, and 'Enable Auto IP Report' is checked. The 'MAC Address' field shows '00:90:E8:9A:DF:7F'. At the bottom, there are 'OK' and 'Cancel' buttons, and a 'Help' button with a question mark icon.

Tx Mode

Hi-Performance は **Tx Mode** のデフォルト設定です。ドライバーがデータを NPort に送信した後、ドライバーはすぐにプログラムに “Tx empty” 応答を発行します。**Classical** モードでは、ドライバーは NPort のシリアルポートから確認を受け取るまで “Tx empty” 応答を送信しません。これによりスループットが低下します。すべてのデータが処理前に送信されることを確実にしたい場合は、**Classical** モードを使用することをお勧めします。

FIFO

FIFO が無効になっている場合、NPort 5000 は Tx FIFO が空になるたびに 1 バイトを送信し、受信バイトごとに Rx 割り込みを生成します。これにより応答速度が速くなり、スループットが低下します。

Network Timeout

このオプションを使用して、ターゲット NPort が利用できない場合のブロッキングを防ぐことができます。

Fast Flush (ローカルバッファのみをフラッシュ)

一部のアプリケーションでは、ユーザーのプログラムがデータの読み取りや書き込みの前に Win32 の PurgeComm() 関数を使用します。プログラムが PurgeComm() 関数を使用した後、NPort ドライバーは NPort のファームウェアに複数回アクティブに問い合わせを行い、ファームウェアバッファにキューされたデータがないことを確認します。これは、単にローカルバッファをフラッシュするものではありません。この設計は特別な考慮事項を満たすためのものですが、イーサネットを介した通信により時間がかかるため、ネイティブ COM1 よりも時間がかかる場合があります（数百ミリ秒程度）。したがって、PurgeComm() は PC のネイティブ COM ポートで動作するよりも、NPort にマッピングされた COM ポートで動作する方がはるかに速くなります。より速い応答時間を必要とする他のアプリケーションを満たすために、NPort ドライバーは **Fast Flush** オプションを実装しています。この機能はデフォルトで有効になっています。

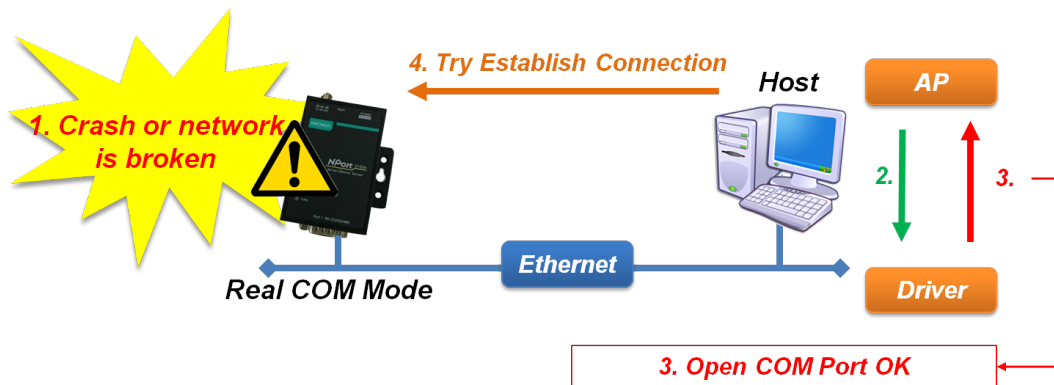
Fast Flush を無効にしている、NPort にマッピングされた COM ポートがネイティブ COM ポートを使用する場合よりも著しく遅いことに気付いた場合、アプリケーションが PurgeComm() 関数を使用しているかどうかを確認してください。もしそうなら、**Fast Flush** 機能を有効にしてみても、性能に大きな改善があるかどうかを確認してください。

Network Re-Connection

このオプションを有効にすると、NPort がバックグラウンドの “check-alive” パケットに応答しない場合、ドライバーは TCP 接続を再確立するために繰り返し試みます。

Always Accept Open Requests

ドライバーが NPort との接続を確立できない場合でも、ユーザーのソフトウェアはネイティブの COM ポートと同様にマッピングされた COM ポートを開くことができます。



Return Error If the Network Is Unavailable

このオプションを無効にすると、NPort への接続が確立されない場合でも、ドライバーがエラーを返さなくなります。このオプションを有効にすると、NPort に接続できない場合に Win32 Comm 関数がエラーコード「STATUS_NETWORK_UNREACHABLE」を返します。通常、これはホストのネットワーク接続がオフラインであることを示し、おそらくケーブルが切断されているためです。他のネットワークデバイスにアクセスできる場合、NPort が現在電源が入っていないか、正しく接続されていない可能性があります。この機能を使用するには、**Auto Network Re-Connection** が有効になっていることを確認してください。

Drop Writing Data If Network Connection Lost

Windows と NPort デバイス間のネットワーク接続が失われた場合、有効な NPort ドライバーは書き込みデータをドロップします。ネットワークが再接続されても書き込みデータは送信されません。

Ignore TX Purge

アプリケーションは、Win32 API PurgeComm を使用して出力バッファをクリアできます。アプリケーションは未解決の重複する書き込み操作を終了します。**Ignore TX Purge** チェックボックスを選択して、出力データに対する効果を無視します。

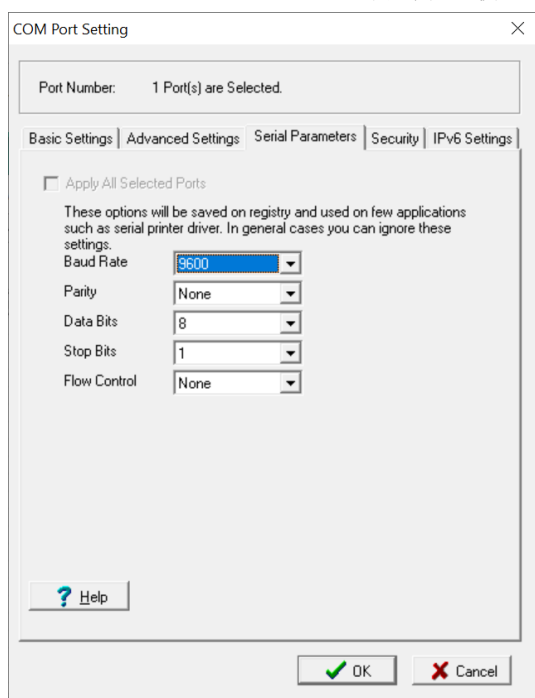


注意

Moxa Windows Driver Manager v1.19 以降では、Moxa OnCell シリーズをサポートしています。**Advance Settings** の **Enable Auto IP Report** 機能は、OnCell 製品のみをサポートしています。

Serial Parameters

NPort が電源オンになると、次の図の **Serial Parameters** ウィンドウにはデフォルトの設定が表示されます。ただし、プログラムはポートを Win 32 API 経由で開いた後でも、シリアルパラメータを異なる値に再定義できます。



COM Port Setting

Port Number: 1 Port(s) are Selected.

Basic Settings | Advanced Settings | **Serial Parameters** | Security | IPv6 Settings

☐ Apply All Selected Ports

These options will be saved on registry and used on few applications such as serial printer driver. In general cases you can ignore these settings.

Baud Rate: 9600

Parity: None

Data Bits: 8

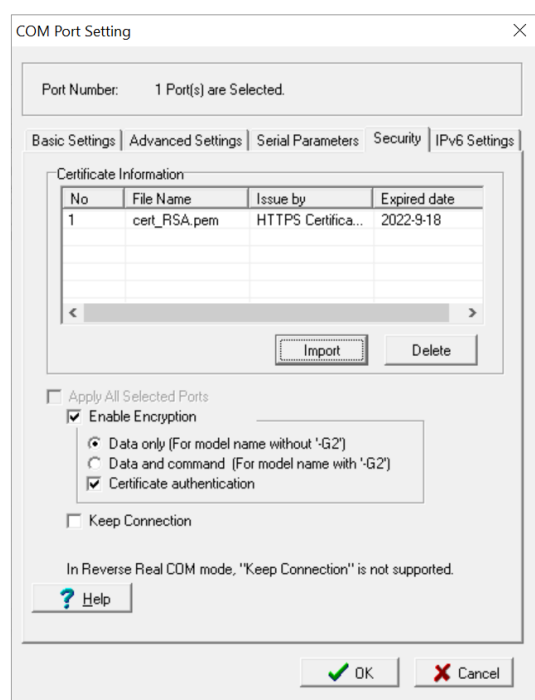
Stop Bits: 1

Flow Control: None

? Help

OK Cancel

Security (NPort 6000 および NPort G2 モデル)



COM Port Setting

Port Number: 1 Port(s) are Selected.

Basic Settings | Advanced Settings | Serial Parameters | **Security** | IPv6 Settings

Certificate Information

No	File Name	Issue by	Expired date
1	cert_RSA.pem	HTTPS Certifica...	2022-9-18

< >

Import Delete

☐ Apply All Selected Ports

☒ Enable Encryption

☒ Data only (For model name without 'G2')

☐ Data and command (For model name with 'G2')

☒ Certificate authentication

☐ Keep Connection

In Reverse Real COM mode, "Keep Connection" is not supported.

? Help

OK Cancel

Enable Encryption

選択された COM ポートのデータとコマンド伝送に SSL 暗号化を有効にします。

- **Data only**

古いモデルの NPort はデータ暗号化のみをサポートしています。古い NPort を使用している場合はこのオプションを選択してください。

- **Data and command**
NPort G2 はデータとコマンドの両方の暗号化をサポートしています。NPort G2 モデルを使用している場合は、このオプションを選択してください。
- **Certification Authentication**
これは NPort G2 および NPort 6000 モデルのみをサポートしています。これは、インポートされた証明書が **Certificate Authority (CA)** によって認証されているかどうかを確認するためのセキュリティ強化機能です。上の **Import** ボタンをクリックして、独自の証明書をインポートしてください。

Keep Connection

COM ポートを頻繁に開閉する場合（データ暗号化が有効である場合）や、NPort が 1 つのホストによってのみ使用されている場合は、操作を迅速にするためにこのオプションを有効にすることをお勧めします。暗号化が有効な COM ポートを開く際には、SSL プロトコルのため短時間（300～500 ミリ秒）かかります。これらのオプションを有効にすると、COM ポート接続（SSL）が維持されます。ここでは、COM ポートの開閉がより迅速に行われます。



注意

Reverse Real COM モードでは、**Keep Connection** がサポートされていません。

IPv6 Settings (NPort 6000 および NPort 6000-G2 モデル)

Interface Index

Interface Index はリンクローカルアドレスマッピング専用です。マッピングアドレスがリンクローカル（例：fe80:0/64）でない場合は、この設定を無視してください。COM ポートがリンクローカルアドレスでマッピングされている場合、ルーティングの問題を解決するためにインターフェースインデックスを割り当てます。この設定は、Windows システムにデータをどのインターフェースにルーティングするかを指示します。



注意

1. **Security** は NPort 6000 および NPort G2 モデルでのみサポートされています。
2. **IPv6 Settings** は NPort 6000 および NPort 6000-G2 モデルでのみサポートされています。

フィルター



フィルターは、長いリストから探しているデバイスを素早く見つけるのに役立ちます。**検索するには入力フィールドに任意の値を入力すると、一致するデバイス属性を素早く検索します。**

デバイスを選択してください					
<input type="checkbox"/> シーケンス		モデル	LAN1 IPv4	LAN1 MAC	
<input type="checkbox"/> 1		NPort 5450I	10.12.101.201	00:90:E8:9A:E0:BF	3.14
<input type="checkbox"/> 2		NPort 6250	10.12.101.200	00:90:E8:4B:B2:E4	2.2
<input type="checkbox"/> 3		NPort 5210A	10.12.101.202	00:90:E8:AD:45:10	1.6

×
⋮

+ フィルタを追加

ページごとの項目数: 10 1 - 3 of 3 < > >>

または、特定のデバイスを見つけるために単一または組み合わせた条件を使用するために **フィルタを追加** できます。

デバイスを選択してください

<input type="checkbox"/>	シーケンス	モデル	LAN1 IPv4	LAN1 MAC
<input type="checkbox"/>	1	NPort 6250-G2	10.12.101.199	00:90:E8:62:50:A1
<input type="checkbox"/>	2	NPort 5450I	10.12.101.201	00:90:E8:9A:E0:BF
<input type="checkbox"/>	3	NPort 5210A	10.12.101.202	00:90:E8:AD:45:10
<input type="checkbox"/>	4	NPort 5210A	192.168.127.254	00:90:E8:AD:45:6A

検索するには入力

装置名
モデル
アンロック 状態
ログイン権限
LAN1 IPv4

検索

ページごとの項目数: 10 1 - 4 of 4

フィルター機能は、非表示の列の文字も検索します。

フィルタオプション

フィルタ値	フィルタ基準
デバイス名	デバイス名フィールドで検索入力値
モデル名	モデル名フィールドで検索入力値
アンロック 状態	ロック解除またはロックされたデバイスを検索
ログイン許可	高度、レガシー、デフォルトデバイス、または通常の権限を持つデバイスを検索します。 (詳細な権限の定義については、ロック解除セクションを参照してください)
LAN1 IPv4	IPv4 フィールドで IP 値を検索
LAN1 MAC	LAN1 MAC フィールドで MAC 値を検索
ファームウェアバージョン	ファームウェアバージョンフィールドでファームウェアを検索



注意

フィルター 値は大文字と小文字を区別します。

サマリービュー

サマリービューは、検索テーブルリスト内の各モデルの合計数をシンプルに表示します。

サマリービュー	
モデル	総数
NPort 5210A	1
NPort 5450I	1
NPort 6250	1
NPort 6250-G2	1
閉じる	

リストをファイルに保存

リストをファイルに保存は、現在のビューに表示されているデバイスをローカルファイルに保存します。CSV 形式で保存されたファイルは、Microsoft Excel や macOS Numbers などの編集ソフトウェアを使用して表示できます。

保存されたファイルは次のようになります：

	A	B	C	D	E	F	G
1	シーケンス	ログイン権限	モデル	LAN1 IPv4	LAN1 MAC	ファームウェアバージョン	
2	1	アドバンス	NPort 6250-G2	10.12.101.199	00:90:E8:62:50:A1	1.0.0	
3	2	アドバンス	NPort 5450I	10.12.101.201	00:90:E8:9A:E0:BF	3.14	
4	3	アドバンス	NPort 6250	10.12.101.200	00:90:E8:4B:B2:E4	2.2	
5	4	アドバンス	NPort 5210A	10.12.101.202	00:90:E8:AD:45:10	1.6	
6							



注意

1. ファイルにより多くのフィールドを含めたい場合は、**フィールドの表示/非表示** でフィールドを表示する必要があります。
2. セキュリティ上の理由から、特定のフィールドの情報が隠されている場合があります。リスト内のすべてのデータを表示するには、まずこれらのデバイスを解除してください。

フィールドの表示/非表示

デフォルトでは、すべてのデバイス属性は非表示になっています。これらのフィールドにアクセスする必要がある場合は、次のフィールドを表示する必要があります。

フィールドの表示/非表示

固定フィールド

シークエンス

ログイン権限

モデル

調整可能なフィールド リセット

装置名	
LAN1 IPv4	
LAN1 MAC	
LAN2 IPv4	
LAN2 MAC	
LAN1 IPv6	

キャンセル 保存

: 表示

: 非表示



注意

調整可能なフィールド のオプションのみ表示できます。**固定フィールド** のオプションは常にデフォルトで表示されます。

アプリケーション情報



概要

エンドユーザー使用許諾契約およびリリースノートはこちらでご覧いただけます。

について

ソフトウェア名	Device Search Utility
バージョン	v3.0
ビルド日	Build 07/09/2024

[エンドユーザー使用許諾契約](#)

[リリースノート](#)

閉じる

ユーザーマニュアル

こちらで **DSU U** のユーザーマニュアルを確認することができます。他の言語のユーザーマニュアルを読みたい場合は、**環境設定>言語**で言語を切り替えるか、**Program files\Moxa\Device Search Utility\wwwroot\assets**で PDF ファイルを確認してください。

環境設定



デバイス検索

環境設定

< デバイス検索 ロック解除タイムアウト 言語 >

デバイス検索のタイムアウト制限

検索タイムアウト (秒)

10

10 ~ 30

☒ DSU起動時にデバイスを自動検索

キャンセル 保存

デバイス検索のタイムアウト制限

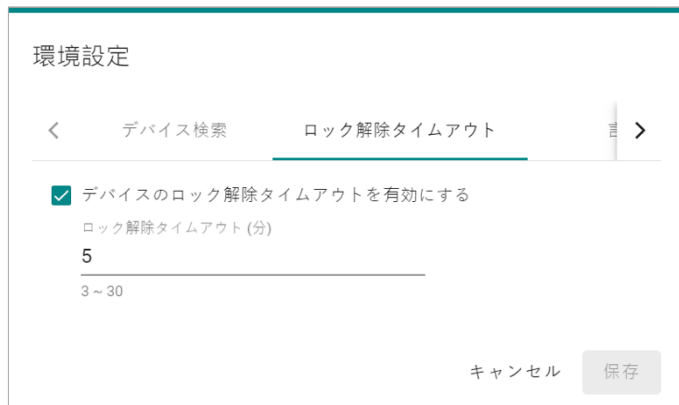
各検索のタイマーはデバイスが見つかりとリセットされ、見つからなくなるまで検索を続けます。

デフォルトの制限時間は 10 秒です。

DSU 起動時にデバイスを自動検索

アプリケーションを起動すると検索がトリガーされます。デフォルトはオンに設定されています。

ロック解除タイムアウト



環境設定

< デバイス検索 **ロック解除タイムアウト** 言語 >

☒ デバイスのロック解除タイムアウトを有効にする

ロック解除タイムアウト (分)

5

3 ~ 30

キャンセル 保存

DSU では、この値がアンロックのタイムアウトを決定します。タイマーが切れるか、**DSU** アプリケーションが閉じられると、デバイスは再びロックされ、再度アンロックする必要があります。



注意

これは Web コンソールの **Session Control** の **Session Timeout** とは異なります。

言語



環境設定

繁體中文

简体中文

日本語

한국어

Deutsch

言語 >

キャンセル 保存

DSU は、さまざまな言語でユーザーインターフェースを提供します：英語、繁体字中国語、簡体字中国語、日本語、韓国語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、ロシア語。

3. 使用シナリオのヒント

大量展開

DSU は、数多くのデバイス（同一モデル）が共通の設定を共有する場合に、大量展開するための便利なツールです。

ステップ 1: Web コンソールで 1 台のデバイスの設定を設定する

ステップ 2: **DSU** でデバイスから設定ファイルをエクスポートする；このファイルを展開元ファイルとして利用する

ステップ 3: すべてのデバイスに **IP** を割り当てる

ステップ 4: 設定をすべてのデバイスにインポートする（ネットワーク設定を維持する）

A. エラーメッセージ

エラーメッセージ	考えられる原因	考えられる解決策
アカウントまたはパスワードがデバイスのポリシーに準拠していません。入力値を確認して再試行してください。	入力されたアカウントとパスワードがセキュリティ要件に一致しません。	セキュリティ要件を参照して再試行してください。
設定ファイルの IPv4 アドレスにエラーがあります。確認して再度インプットしてください。	設定ファイルの IPv4 アドレスの値が正しくありません。	設定ファイルの IPv4 アドレスの値を確認して再試行してください。
設定ファイルの IPv4 ゲートウェイにエラーがあります。確認して再インプットしてください。	設定ファイルの IPv4 ゲートウェイ値が正しくありません。	設定ファイルの IPv4 ゲートウェイ値を確認して、再試行してください。
設定ファイルの IPv4 ネットマスクにエラーがあります。確認してから再インプットしてください。	設定ファイルの IPv4 ネットマスクの値が正しくありません。	設定ファイルの IPv4 ネットマスクの値を確認して、再度お試しください。
設定ファイルの IPv6 アドレスにエラーがあります。確認して再度インプットしてください。	設定ファイルの IPv6 アドレスの値が正しくありません。	設定ファイルの IPv6 アドレスの値を確認して再試行してください。
設定ファイルの IPv6 ゲートウェイにエラーがあります。確認して再インプットしてください。	設定ファイルの IPv6 ゲートウェイ値が正しくありません。	設定ファイルの IPv6 ゲートウェイ値を確認して、再試行してください。
設定ファイルの IPv6 プレフィックスにエラーがあります。確認してから再インプットしてください。	設定ファイルの IPv6 プレフィックスの値が正しくありません。	設定ファイルの IPv6 プレフィックスの値を確認して、再度お試しください。
マークされたデバイスは、コンピュータとは異なるネットワーク セグメントにあるか、ネットワークに問題がある可能性があります。先に進む前に確認することをお勧めします。	デバイスが DSU と同じネットワーク セグメントにありません。	デバイスと DSU を同じネットワークセグメントに配置してください。
割り当てに失敗しました。再試行してください。	コマンドの開始またはプロセスが終了した可能性があります。	もう一度お試しください。失敗が続く場合は、次のことを試してください： ・ ブラウザページを閉じて、 DSU を再起動します。 ・ または、デバイスのリセットボタンを一回短く押します。 その後、もう一度お試しください。
{動作} に失敗しました。もう一度お試しください。		
デフォルトアカウントの設定に失敗しました。再試行してください。		
ファイル形式が正しくありません。	ファイルの形式が正しい種類ではありません。	ファイル形式を確認してもう一度お試しください。
入力値が適合しません。確認して再試行してください。	値が正しくないため、コマンドを実行できません。	値を確認して再試行してください。
権限が不十分です。	ログインアカウントにはこの操作を行う権限がありません。	十分な権限を持つ別のログインアカウントに変更するか、管理者に連絡してください。
IPv4 アドレス値がデバイスの要件に準拠していません。確認して再試行してください。	入力された IPv4 アドレスの値が要件を満たしていません。	値を確認して再試行してください。
IPv4 ゲートウェイの値がデバイスの要件に準拠していません。確認して再試行してください。	入力された IPv4 ゲートウェイの値が要件を満たしていません。	値を確認して再試行してください。
IPv4 ネットマスク値がデバイスの要件に準拠していません。確認して再試行してください。	入力された IPv4 サブネットマスクの値が要件を満たしていません。	値を確認して再試行してください。

エラーメッセージ	考えられる原因	考えられる解決策
IPv6 アドレス値がデバイスの要件に準拠していません。確認して再試行してください。	入力された IPv6 アドレスの値が要件を満たしていません。	値を確認して再試行してください。
IPv6 ゲートウェイの値がデバイスの要件に準拠していません。確認して再試行してください。	入力された IPv6 ゲートウェイの値が要件を満たしていません。	値を確認して再試行してください。
IPv6 プレフィックス値がデバイスの要件に準拠していません。確認して再試行してください。	入力された IPv6 プレフィックスの値が要件を満たしていません。	値を確認して再試行してください。
選択したファイルを開くことができません。	ファイルをインポートできません。他のアプリケーションでファイルが使用中であるか、移動中であるか、存在しない可能性があります。	ファイルの状態を確認して、もう一度お試しください。
現在のデバイスのネットワーク設定を維持する間にセッションがタイムアウトしました。処理を続行する前に、デバイスの IP 構成を確認してください。	IPv4 または IPv6 を維持しようとしたときにタイムアウトしました。	続行する前に、IPv4 または IPv6 の値が同じかどうかを確認してください。
再起動を試みるときにセッションがタイムアウトしました。デバイスを手動で再起動してください。	再起動後、デバイスが応答しません。	<ul style="list-style-type: none"> 1 分後にデバイスを再度検索してください。 ネットワークを確認してください。 デバイスの電源が入っているか確認してください。入っている場合は、リセットボタンを 1 回短く押してください。そうでない場合は、電源または電源ケーブルを確認し、デバイスの電源を再投入してください。その後、再度検索して、意図した操作が達成されたかどうかを確認してください。
処理がタイムアウトしました。再試行してください。	デバイスが応答していません。	<ul style="list-style-type: none"> ネットワークを確認してください。 デバイスが電源オンのままか確認してください。
このデバイスはこの機能をサポートしていません。	コマンドが受け付けられません。	このデバイスはこの機能をサポートしていない可能性があります。
現在のデバイスのネットワーク設定を維持するを実行中に接続できませんでした。処理を続行する前に、デバイスの IP 設定を確認してください。	IP を維持しようとしたときに接続が切れました。	続行する前に、IPv4 または IPv6 の値が同じかどうかを確認してください。
再起動しようとして接続できません。デバイスを手動で再起動してください。	再起動後にデバイスに接続できません。	<ul style="list-style-type: none"> 1 分後にデバイスを再検索してください ネットワークを確認してください デバイスの電源が入っているか確認してください。入っている場合は、リセットボタンを 1 回短く押してください。そうでない場合は、電源または電源ケーブルを確認し、デバイスの電源を再投入してください。その後、再度検索して、意図した操作が達成されたかどうかを確認してください。
接続できません。ネットワークを確認してください。	ネットワークにリンク障害が発生している可能性があります。ネットワークを確認してください。	ネットワークを確認してください。
動作を実行できません。再試行してください。	コマンドを実行できませんでした。コマンドの開始またはプロセスが終了した可能性があります。	<ul style="list-style-type: none"> もう一度試してください。失敗が続く場合は、次のことを試してください： ブラウザページを閉じて、再度 DSU を起動してください または、リセットボタンを短く一度押してください それからもう一度試してください

エラーメッセージ	考えられる原因	考えられる解決策
再起動を試みているときに不明なエラーが発生しました。デバイスを手動で再起動してください。	不明なエラーが発生しました。	<ul style="list-style-type: none"> 1 分後に再度デバイスを検索してください。 ネットワークを確認してください。 デバイスの電源が入っているか確認してください。入っている場合は、リセットボタンを 1 回短く押してください。そうでない場合は、電源または電源ケーブルを確認し、デバイスの電源を再投入してください。その後、再度検索して、意図した操作が達成されたかどうかを確認してください。 その後、再度検索して、意図した操作が達成されたかどうかを確認してください。
不明なエラーが発生しました。もう一度お試しください。	不明なエラーが発生しました。	<ul style="list-style-type: none"> もう一度お試しください。問題が解決しない場合は、次のことを試してください： ブラウザページを閉じて、DSU を再起動します。 または、デバイスのリセットボタンを一度短く押します。 その後、再試行してください。
ログインしていないか、ログインセッションの有効期限が切れました。	デバイスをロック解除していないか、デバイスのロック解除機能がタイムアウトしました。	もう一度デバイスのロックを解除してください。
マークされたデバイスは、コンピュータとは異なるネットワーク セグメントにあるか、ネットワークに問題がある可能性があります。先に進む前に確認することをお勧めします。	Telnet アプリケーションが呼び出せません。	<p>まだインストールされていない場合は、アプリケーションをインストールしてください。</p> <p>サービスを有効にするには、Windows 機能に移動し、Telnet クライアントを有効にしてください。</p>
検索範囲はネットワーク セグメントにまたがることはできません。	IP 範囲検索の範囲外です。	最初の 3 つのフィールドを変更せず、4 つ目のフィールドだけを変更します。例： 192.168.127.1 から 192.168.127.255 まで。